

■ 令和 7 年度から乳がん検診・子宮がん検診の対象者が偶数年齢の方になります

乳がん検診

対象年齢：40 歳以上の女性

- 令和 5 年度まで、生年月日の和暦が「奇数年」か「偶数年」かで対象を選定

例) 令和 5 年度に、**昭和 55 年**生まれ（43 歳） → 和暦が奇数で対象



- 令和 7 年度より、年度末年齢（※令和 8 年 4 月 1 日現在の年齢）が**偶数年齢**の方が対象

例) 令和 7 年度に、昭和 55 年生まれ（**45 歳**） → 年度末年齢が奇数で対象外

- 令和 6 年度はこの変更に伴い、移行期間として **40 歳以上の女性**は**全員**対象とします

子宮がん検診

対象年齢：20 歳以上の女性

- 令和 6 年度まで、**20 歳以上の方は毎年**、子宮がん検診の受診が可能



- 令和 7 年度からは国の指針に基づき、2 年に 1 回の受診となり、
年度末年齢（※令和 8 年 4 月 1 日現在の年齢）が**偶数年齢**の人が対象

	令和 6 年度	令和 7 年度
乳がん	40 歳以上全員	令和 8 年 4 月 1 日までの年齢が偶数の方
子宮がん	20 歳以上全員	令和 8 年 4 月 1 日までの年齢が偶数の方

令和 6 年 4 月 2 日～令和 7 年 4 月 1 日までに年齢が偶数年齢になる方は、令和 7 年度の女性がん検診の受診ができません。令和 6 年度の受診を逃すと、2 年連続で受診ができなくなります。ぜひ、この機会に令和 6 年度の女性がん検診を受診ください。申込については、4 月末発送の通知にてご確認ください。

■ ご存知ですか？肺の生活習慣病 COPD（慢性閉塞性肺疾患）

COPD は、たばこの煙などの有害物質を吸い込むことで起こる肺の病気です。気道の炎症により空気がうまく通らず、咳、痰、息切れが強くなり生活に支障をきたします。

COPD の患者数は、全国で 530 万人と推定されています。しかし、実際に COPD と診断されているのは 22 万人（2017 年時点 厚労省調査）となっています。

悪化してしまった肺の働きは、完全に健康な状態に戻すことは困難です。COPD は別名「たばこ病」とも呼ばれるほど喫煙との因果関係が深い病気で、COPD の予防と治療の基本は禁煙です。

たばこを吸っている人・吸っていた人は、下のチェック表を見ながら、普段の生活を見直してみましょう。

このような症状はありませんか？チェックしてみましょう！

- ☐ たばこを長期間吸っている（または吸っていた）
 ☐ 1 日に何度もせきが出る
 ☐ 40 歳以上である
☐ 息切れしやすい
 ☐ 呼吸をするとゼイゼイ等の異音が出る
 ☐ 黄色や粘り気のある痰が出る

➔ いくつかの症状が思い当たる方は COPD の可能性があります。まずはかかりつけの病院を受診しましょう！